

2009年

11月29日(土曜日) - 人権尊重の気風は”気づき”から「人権市民のつどい2009」

-

本日、「人権市民のつどい2009」が開催され、エスペランサさんのご演奏とご講演を賜り、誠に意義深い。エスペランサさんには心から感謝を申し上げます。

昨今、依然として、子ども、女性、高齢者、障害者、同和、外国人の方など、数多くの人権に関する課題が顕在化していますが、私は、人権の問題の解決には、まず一人ひとりが人権を巡る出来事を自分自身の問題としていかに受け止めることができるか、ということが欠かせません。このためには、まずは自分自身がいかにかくさんの人様に支えられて、数えきれないおかげをいただいて、生きているか、生かされているか、ということへの“気づき”、どれだけ痛切にこのことに気づかされるか、が何より大切だ。そして、こういったことへの気づきの一つ一つが、転じて、他人をかけがえなく尊く思う、他人に何かをさせていただくことの大切さ、喜びへと導いていただけることにつながると思う。

エスペランサさんには、難病を乗り越え奇跡のステージ復帰を果たされ、「全ての人への感謝のお気持ち」とともに「夢をあきらめない」静かな気骨に満ちたご演奏とご講演は、深い感謝に裏打ちされた真実の勇気とあふれんばかりの人間の可能性を我々一人ひとりに教えてくださっていると感じます。エスペランサさん、素晴らしいステージを本当にありがとうございました。